

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	English A		
英文授業科目名	English A		
開講年度	2004年度	開講年次	1年次
開講学期	1学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I		
開講学科・専攻	量子・物質工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	芝 優子(学内連絡教官 佐藤 美弥子)		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ

<b>【主題および達成目標】</b>
インターネットに接続し、諸外国の様々なサイトを読み、聞き、理解することを通じて英語の必要性を実感し、実際に役に立つ英語の習得を目指します。情報の検索方法、信頼に足る情報源であるかどうかの判断、情報の正しい把握を身につけ、獲得した情報を元に、簡潔なレポートが作成できるようになるのが目標です。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
なし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし

<b>【教科書等】</b>
なし

<b>【授業内容とその進め方】</b>
<p>授業貸し出し用のパソコンを各自が使用します。OSはWindows XP、主にWordを使用し、初心者でも大丈夫のように指導して行きますが、タッチタイプだけは個人的にできるだけ早く習得することが必要になります。また、少人数での「実習」形式になりますから、「やる気」を出さないと落伍することになります。</p> <p>英語を実際に使う場合、必要になるのが辞書の助けです。on-lineの辞書や翻訳サービスも利用しますが、辞書は内容が不十分だし、翻訳ソフトにはまだまだ問題が多いので、批判精神を持ちつつ使います。絶対に</p>

## 電気通信大学 平成16年度シラバス

必要になる将来を見据え、英和中辞典以上の辞書の使い方もここで身につけたい。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

積極的な参加態度と、授業中の作業をまとめたレポート(毎回提出)を総合的に評価する。

### 【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等は電子メール(授業内指示)で受け付ける。

### 【学生へのメッセージ】

英語はコミュニケーションの道具です。頑張ることができる限り機能的な道具を獲得しよう。

### 【その他】